

平成 28 年度事業計画

1. 一般研究助成

1. 第36回一般研究助成対象者の発表論文をまとめて「がん治療のあゆみ」第36巻を刊行する。
2. 第37回一般研究助成の選考を行う。
3. 第37回一般研究助成贈呈式、第36回研究発表会を開催する(2016. 12. 2)。

2. 臨床研究助成

JFMC34-0601 : ホルモン陽性Stage II, IIIA, 閉経後乳癌に対するエキセメスタン24週間術前治療の有用性の検討 (臨床第II相試験)

1. 追跡調査を行う。
2. 記録用紙の回収を行い、データ処理を行う。

JFMC35-C1 (ACTS-RC) : 術後補助化学療法におけるフッ化ピリミジン系薬剤の有用性に関する比較臨床試験 (治癒切除直腸癌に対するUFT療法とTS-1療法との比較検討)

1. 英文論文を作成する。

JFMC36-0701 : 進行・再発胃癌に対するTS-1単独療法/ TS-1+レンチナン併用療法による第III相試験

1. 英文論文を作成する。

JFMC37-0801 : Stage III (Dukes' C) 結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのカペシタビンの至適投与期間に関するランダム化第III相比較臨床試験

1. 安全性に関する英文論文を作成する。
2. 最終解析を行う。
3. 学会発表を行う。
4. 英文論文を作成する。

JFMC37-0801 (付随研究) : 結腸癌術後治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのカペシタビン投与期間延長によるHRQOLおよび医療経済性への影響の調査

1. 最終解析を行う。
2. 学会発表を行う。
3. 英文論文を作成する。

JFMC38-0901 : pTNM stage II 直腸癌症例に対する手術単独療法及びUFT/PSK療法のランダム化第III相比較臨床試験

1. 追跡調査を行う。
2. 記録用紙の回収を行い、データ処理を行う。
3. 最終解析を行う。

JFMC41-1001-C2 : Stage II /Stage III 結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLF0X6療法の認容性に関する検討

1. 最終解析を行う。
2. 学会発表を行う。
3. 英文論文を作成する。

JFMC41-1001-C2 (付随研究)：Stage II/Stage III 結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法の認容性に関する検討—オキサリプラチンの安全性指標に関する策定研究—

1. 遺伝子統合解析を行う。
2. 学会発表を行う。
3. 英文論文を作成する。

JFMC43-1003：切除不能進行・再発胃癌症例に対するTS-1の連日投与法および隔日投与法のランダム化第II相試験

1. 学会発表を行う。
2. 英文論文を作成する。

JFMC44-1101：治癒切除不能な進行・再発胃癌症例におけるHER2の検討 — 観察研究 —

1. 最終解析を行う。
2. 学会発表を行う。
3. 英文論文を作成する。

JFMC45-1102：前治療歴を有するHER2強陽性(IHC3+または、IHC2+かつFISH+) 進行・再発胃癌症例を対象とするトラスツズマブ/パクリタキセル併用療法 -第II相試験-

1. 英文論文を作成する。

JFMC46-1201：再発危険因子を有するStage II 大腸癌に対するUFT/LV療法の臨床的有用性に関する研究

1. 症例集積を行う。
2. EDCによるデータ回収を行い、データ処理を行う。
3. 第4回 定期モニタリングレポートを作成する。

JFMC47-1202-C3：Stage III 結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第III相比較臨床試験

1. EDCによるデータ回収を行い、データ処理を行う。
2. IDEA試験全体のイベント数調査に向けたデータ処理を行う。
3. 第4回 定期モニタリングレポートを作成する。
4. 安全性に関する解析を実施する。
5. 学会発表を行う。
6. 英文論文を作成する。

JFMC47-1202-C3 (付随研究)：Stage III 結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第III相比較臨床試験 付随研究

1. EDCによるデータ回収を行い、データ処理を行う。

JFMC48-1301-C4：再発危険因子を有するハイリスクStage II 結腸がん治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法の至適投与期間に関するランダム化第III相比較臨床試験

1. 症例集積を行う。
2. EDCによるデータ回収を行い、データ処理を行う。
3. 第3回 定期モニタリングレポートを作成する。

3. 臨床試験審査委員会

新規臨床研究について審議予定である。

4. 倫理委員会

新規臨床研究について審議予定である。

5. 臨床研究開発・推進委員会

平成28年4月に第3回臨床研究開発・推進委員会（メール審議）を開催予定である。

6. 研究論文支援委員会

過去の臨床試験データから統合解析を検討予定である。

7. 医療機器委員会

第1回医療機器委員会を開催予定である。

8. 講演会及び講習会等事業

平成27年度に日本生活習慣病予防協会と共催で市民公開講座（平成28年2月3日）を開催したが、平成28年度も同様にがん治療と予防について講演会や市民公開講座等を開催する予定である。

9. 諸事業

がん集学財団ニュース

1. No. 41を発刊した。
2. No. 42を刊行予定である。

財団諸事業については、当財団ホームページで適宜情報を発信する。